2025 年 2 月 18 日

*News Releases*
**ニュースリリース**

株式会社アークス

# 株式会社アークス×株式会社エフピコ
# 「お店」を発着点とした水平リサイクル「ストアtoストア」の取り組みに関する協働拡大
## ～2026 年 2 月期に $CO_2$ 排出量抑制「年間 4,000t」を目標～

平素は当社の営業活動につきまして、格段のご理解、ご支援を賜り誠にありがとうございます。

株式会社アークス（本社：北海道札幌市、代表取締役会長・CEO：横山清、以下アークス）と株式会社エフピコ（本社：東京都新宿区、代表取締役会長兼エフピコグループ代表：佐藤守正、以下エフピコ）様が、お店を発着点とした水平リサイクル「ストアtoストア」の取り組みに関する共同記者発表を行いましたので、お知らせいたします。

本取り組みは、アークスグループとエフピコ様が協働し、店舗で回収された使用済食品トレーを新たな食品トレーへ、同じく店舗で回収した使用済ペットボトルを新たな透明容器へそれぞれ生まれ変わらせる「水平リサイクル（※）」の活動であり、地球資源の循環及び$CO_2$の削減に資する取り組みです。

アークスグループは、今後も環境負荷低減の取り組みを行うとともに、様々な企業・団体との連携を通じ、お客様の豊かな暮らしに貢献してまいります。

（※）水平リサイクル…リサイクル前後で用途を変えずに資源を循環させるリサイクル方法

**＜共同記者会見の様子＞**

▲ 左から、㈱アークス 代表取締役社長・COO：猫宮一久、同代表取締役会長・CEO：横山清、㈱エフピコ 代表取締役会長：佐藤守正様、同専務取締役：高橋正伸様

**＜取り組み概要＞**

アークスグループは、「地域のライフラインとして価値ある商品・サービスを低価格で提供し、豊かな暮らしに貢献します」というグループ理念のもと、持続可能な社会の実現を目指し、気候変動への対応としてプラスチックの使用量や$CO_2$排出量の削減といった環境負荷軽減を推進し、持続可能な事業運営を目指しております。

エフピコ様とアークスグループは「お店が地域のエコリーダー」となることを目指し、地域の皆様の使用済み食品トレー等をアークスグループ店舗に設置している回収ボックスにて回収いたします。店舗で回収した使用済み食品トレー等はエフピコ様で資源として活用され、エコ製品「エコトレー」「エコAPET」「エコOPET」に生まれ変わり、再びアークスグループの売場にて使用することで循環型の水平リサイクルを実現してまいります。

2025年2月期にアークスグループでは「エコトレー」や「エコAPET」「エコOPET」を使用することで、年間約3,800t の$CO_2$排出量を抑制できる見込みです。また、2026年2月期には$CO_2$排出量抑制 「年間4,000t」 を目指します。

※2025年2月度の$CO_2$排出量抑制数値は2024年2月度の実績を元に見込みとして算出

**＜地域の皆様との環境取り組みの強化について＞**

アークスグループとエフピコ様は、スーパーマーケットで実施する環境啓発イベント、「リサイクル教室」などの環境イベントの取り組み、地域の小学校への出前授業による環境教育を積極的に行っております。地域の環境負荷軽減、リサイクル資源の有効活用に加え、今後も持続可能な循環型社会のさらなる推進に貢献してまいります。

以　上


**この件に関する報道関係の方のお問い合わせ先**

株式会社アークス　　経営企画グループ　　関／広地

TEL：011-530-1050　FAX：011-530-1051